

労働基準監督官

長野 貴志

平成28年4月 任官



❁ 労働基準監督官を志望した理由を教えてください

大学生の頃、公務員を志望して勉強していたのですが、国家公務員や地方公務員等、様々な選択肢がある中で自分なりに方向性を検討していた時、たまたま親族が労働関係の問題で労働基準監督署に相談して解決したという出来事がありました。

このことがきっかけで、全ての「働く方」のために仕事ができる労働基準監督官に興味を持ち、志望しました。

❁ 現在の仕事内容について教えてください

現在は、労働基準監督署の安全衛生課に所属しています。安全衛生課の仕事を大まかに説明しますと、事業場に立ち入り機械装置が法令の基準に適合しているか等の確認や指導業務、クレーン・ボイラー等各種機械の検査業務、各種届出を基にした審査業務等があります。その他にも集団指導と言って、法律や規則が改正された時に、事業場関係者に改正内容等を周知する活動も行っています。

安全衛生の業務に対して、工場や建設現場に立ち入り検査等するイメージがあるかもしれませんが、幅広い業種に関わっています。例えば、社会福祉関連の会社ですと腰痛や転倒災害が発生しやすいので、災害防止の取り組み状況等を確認したり、他の企業が行っている災害防止の取り組みを紹介する等の活動も行っています。

❁ 現在の仕事の魅力は？

安全衛生業務は事業主や機械装置等のメーカーの方と接する機会が多いので、事業主の立場を聞くことや、機械装置等の専門的な話を聞くことが多いと感じます。

そういった意味で、幅広い経験や専門的な知識が得られるところが魅力だと思います。

❁ 苦労したこと等はありませんか？

安全衛生業務に初めて就いた時は、難しい用語や専門的な話が出てくるので、ついていくことに苦労しました。分からないことがあると自分で調べたり上司の指導を受ける等して、一つずつ覚えていきました。また、機械装置に関して分からないことは、製造メーカーの方に対して聞くこともあります。

私は理工系学部出身ではありませんでしたが、一つずつ知識を蓄積していくといった具合に経験を積みました。知識も常にアップデートしていく必要があるので、日々努力しています。

❁ 監督官を目指す方へのメッセージをお願いします！

労働基準監督官の仕事は、皆さんがこれまで培ってこられた知識や経験が必ず生きる仕事だと思います。例えば、学業だけでなく趣味やサークル活動に力を入れていた方でも、指導業務で会社を訪問し事業主と会話をすることで、趣味などの話が会話の掴みになって本題に入りやすくなることもあります。また、前職のある方もその経験が何かのきっかけになることもあります。

労働基準監督官としての専門的な知識や経験は、入庁後でも得ることができますので、監督官の仕事に興味や関心をお持ちの方は、受験を検討されてはいかがでしょうか。